

# 資料① ウェルビーイング指標について



SCI主催の自治体職員向けセミナーのワークショップ



デジスマ部に依頼して会派で行ったワークショップ

SCIのホームページ内  
ダッシュボードへの  
二次元コード →



Well-Beingアンケート

スタート

因子別

総合

因子別

主観詳細

検索

自治体 選択解除

21 岐阜県

22 静岡県

静岡県静岡市

静岡県浜松市

静岡県沼津市

静岡県熱海市

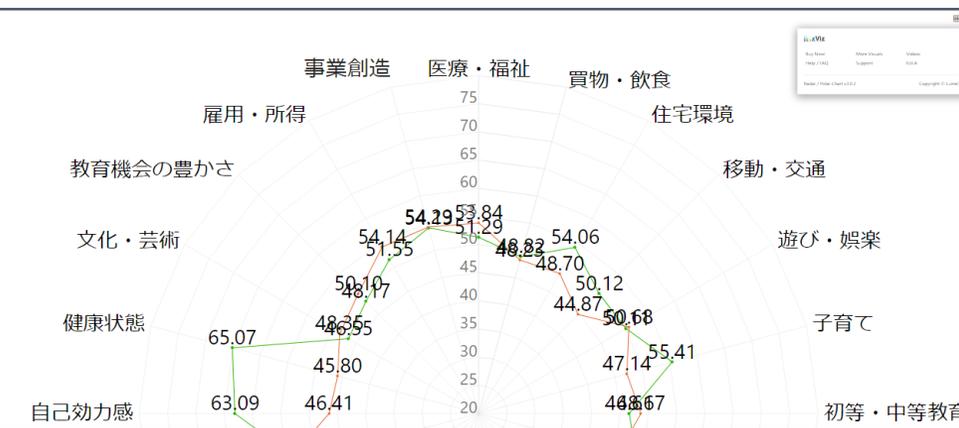
静岡県三島市

区 (政令市の主観のみ有効)

すべて

解除

SCI HPより



# 資料②ユースカウンスシルについて



**味なニ社カウンスシルニ Nihon-ya**

「未だ誰も知らない常識へ」

これは“あたりまえ”のことだから。そう言われ続けいつからか疑問を抱かなくなってしまった。自分には関係がないから、目を閉じて、耳を塞いで、知らないフリをしてきた。

おもいきり遊べない公園。  
男子がスカートを履くのは気持ち悪いという世間体。

いつからそのルールが“あたりまえ”になってしまっていたのだろう。  
いつから理不尽な現実を“しかたない”で片付けてしまう癖がついたのだろう。

その常識は本当にそのままでもいいのか？  
心の中では、誰かが作った常識に違和感を抱いていたはず。

立ち上がろう。自分と一番大切な人のために。  
未だない社会であれば、新しい常識をつくればいい。

**Up To You!**  
常識が変わるかは君次第だ

尼崎市ホームページより

## What's "Up to You!"?

尼崎で過ごす私たち若者が感じている違和感や希望を表明し、課題や解決策を市に提案していくプログラムです。  
自分たちにはできないと思っていることも、やりかた次第で変えていくことができます。  
まずは声を挙げるところから一緒に始めましょう!

**活動内容** 仲間と話す 若者の声を集める 若者の声を届ける 自分たちで活動する

### OUR Activities

活動を通して、最終的にみんなの考えを発表する機会を設けます。  
内容によっては、市の事業としてあなたのプロジェクトが採択されるかもしれません!

#### Kick Off!!!

2023年12月  
前年度のメンバーと新メンバーとの  
顔合わせを行います。

#### Deepen

2024年4月~7月  
何を行うのが決まると、個人もしくはチームでその  
現状について調べ、深めていきます。  
例:尼崎市や民間団体にヒアリングやアンケートなど

#### Handover

2024年12月~  
新しく参加する新メンバーに活動内容  
を引き継ぎます。

12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月  
2023 2024

#### Dialogue

2024年1月~3月  
自分が考える困りごとや課題について、  
話し合いを行い、やりたいを決めていきます!

#### Presentation

2024年8月  
自分たちの考えた内容を  
プレゼンテーションし、他のメンバーや  
大人たちに聞いてもらいます。  
尼崎市長も参加予定です。

#### Action

2024年9月~  
プレゼンテーションで深めた内容をもとに、  
実際に活動を行っていきます。  
行政や地域と協力しながら実施します。

### これまでの取り組み

校則の見直し / ボイ捨てをなくす / 若者のサークル活動支援  
不登校の学習機会 / ヤングケアラー支援 / 奨学金の拡充



2023年は18人のメンバーと毎月1、2回程度集まり自分たちの身の回りの課題やその解決策について活動を行ってきました。



Up To You!  
Instagram

### 申し込み

次のすべてを含む方が対象となります。  
・おおむね14歳~29歳の方 ・途中申込み可能です。  
・毎月1~2回のミーティングに参加し、積極的に取り組む意欲のある方  
・尼崎市内在住、在勤、在学もしくは尼崎市を拠点に活動している方

**初回ミーティング** 2023年12月16日(土) 10:00~16:00

**申し込み方法** 定員15名程度

QRコードからお申込みをお願いします。  
※応募多数の場合は抽選の上、  
選定させていただきます。



**締め切り** 2023年12月14日(木)17:00 **申し込み**

### お問い合わせ

**場所** 尼崎市立ユース交流センター  
尼崎市若王寺2丁目18番4号 あまがさき・ひと咲きプラザ内

**TEL** 06-6423-7788 **MAIL** info@youthconso.jp

本事業は、尼崎市の指定管理業務として実施します。





原田 伊織

友達421人・共通の友達1人

友達 メッセージ

投稿 基本データ 友達 写真 動画 チェックイン その他

自己紹介

スケボーと将棋が好きな大学3年生 | ヤングケアラーの当事者でありサポーター | ユースカウンスルを尼崎市で実践中! | こども家庭庁こども家庭審議会委員 | はじめましての方はメッセージいただくと嬉しいです。

- こども家庭庁こども家庭審議会 委員
- NPO法人 ASK 理事
- 勤務先: 尼崎市ユースカウンスル事業 Uptoyou
- 大阪人間科学大学/Osaka University of Human Sciences 人間科学部・社会福祉学科に在学中
- 武庫之荘総合高校 福祉探求科に在学していました
- 兵庫県 尼崎市在住
- 兵庫県 伊丹市出身
- iori\_harada

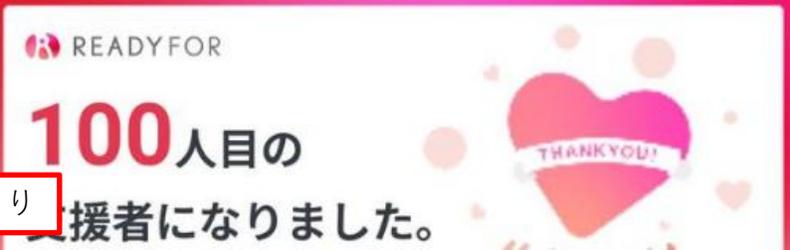
原田 伊織に投稿...

写真・動画 人物をタグ付け 気分・アクティビティ

投稿 フィルター

田畑 北斗 1日・轟

ちゃっかり、100人目の支援者、いただきありがとうございました🥰  
【尼崎のまちにスケボーの響き!常設のスケボーパークを設置したい!】  
リンクはコメント欄から。... さらに表示



こども・若者参画  
及び意見反映専門委員会 (第1回) 令和5年7月10日 (月)

こども・若者参画及び意見反映専門委員会の設置について

令和5年6月30日  
こども家庭審議会基本政策部会決定

1. 設置の趣旨

こども基本法(以下「基本法」という。)第3条第3号及び第4号において、こども施策の基本理念として、こどもや若者の意見表明機会の確保及び多様な社会的活動の参画機会の確保等が規定されている。また、基本法第11条において、国及び地方公共団体は、こども施策を策定・実施・評価するに当たり、対象となるこども・若者等の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとされている。

これらの規定を踏まえ、国及び地方公共団体が行うこども施策の策定・実施・評価におけるこども・若者の参画及び意見反映の在り方や促進方策等について調査審議を行うため、こども家庭審議会運営規則第5条及びこども家庭審議会基本政策部会運営細則に基づき、こども家庭審議会基本政策部会の下に、こども・若者参画及び意見反映専門委員会を設置する。

2. 主な検討事項

- (1) 基本法第3条第3号及び第4号に掲げるこどもや若者の意見表明機会の確保及び多様な社会的活動の参画機会の確保等の在り方
- (2) 基本法第3条第3号及び第4号に掲げるこどもや若者の意見表明機会の確保及び多様な社会的活動の参画機会の確保等に係る機運の醸成、関係者の連携促進
- (3) 基本法第11条において国及び地方公共団体に義務付けられた、こども施策に対するこどもや若者の意見を反映させるために必要な措置の在り方及び取組促進
- (4) 上記のほか、こどもや若者の意見の政策への反映に係る仕組みづくり・環境整備に関する事項

こども家庭庁HPより

委員会に提出された原田さんの資料→



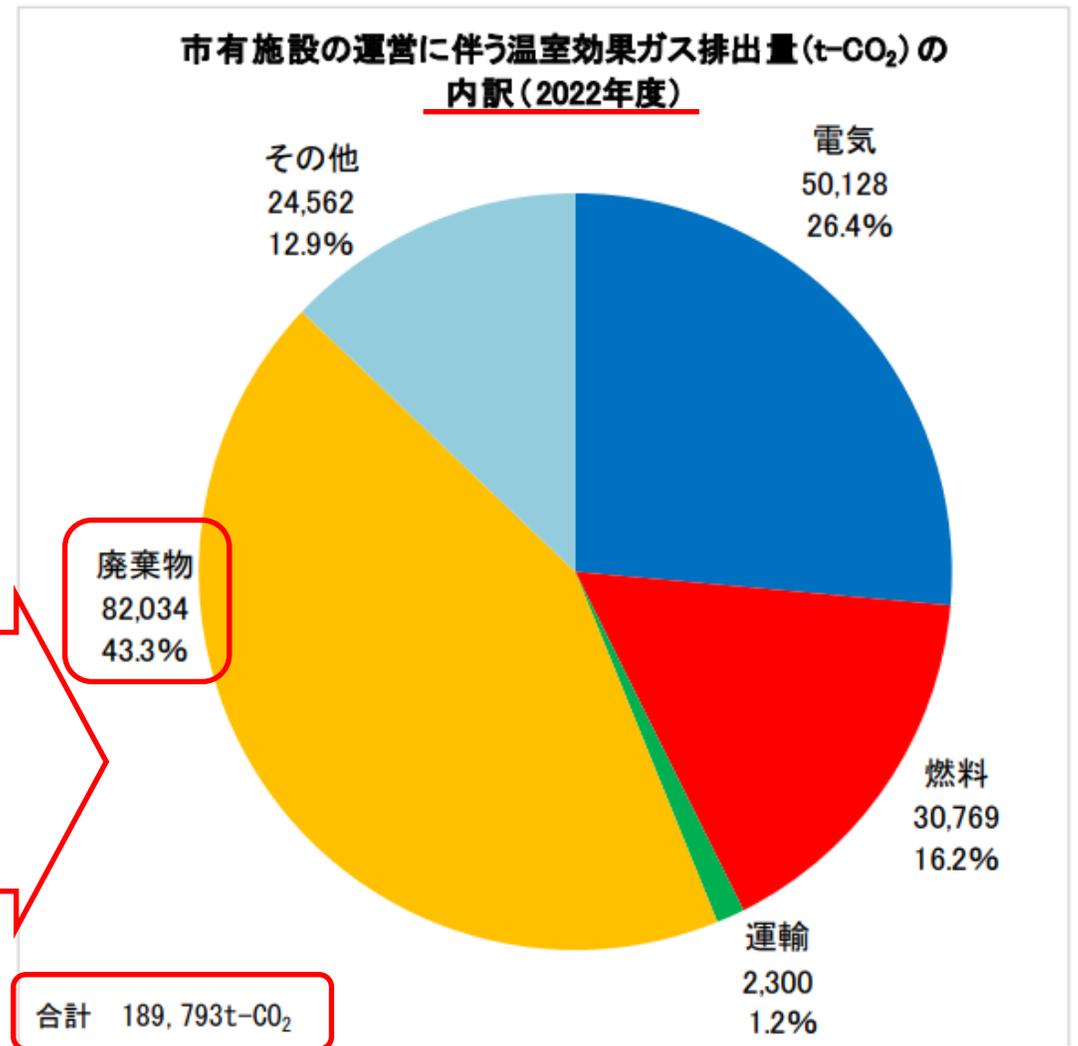
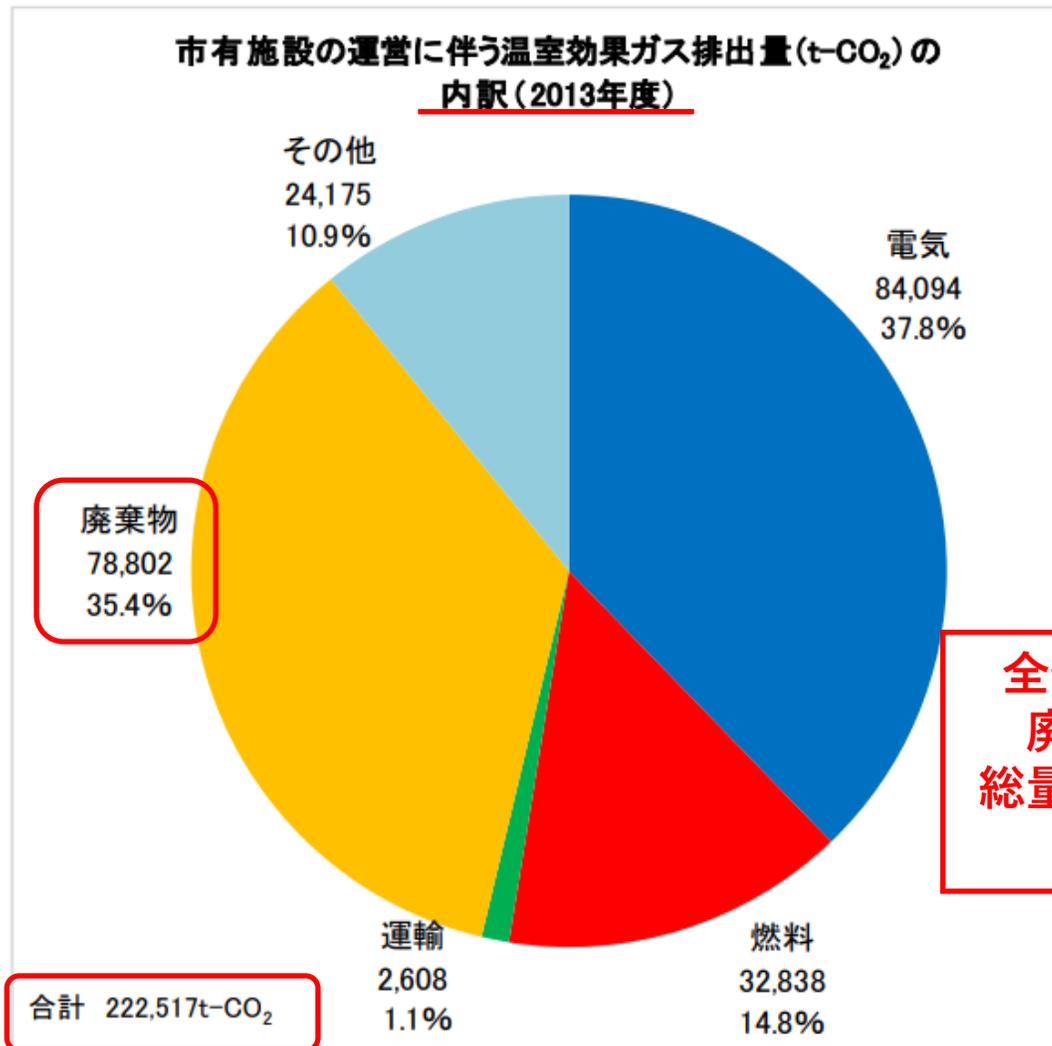
UP to YOU第1期代表 原田伊織さんのFBより

# 資料③カーボンニュートラルについて

## CN困難と思われる部門ごとのカーボンニュートラルへの取り組みと課題

部門	個別の取り組み例	課題
消防	消防・救急車両及び一般車両とも高価格化・稼働に制限あるため、 電動車導入実績はないが、一般車両はリース更新時に検討	電動救急車は通常の3倍くらいの価格。東京都に1台の実績のみ 一般車両主力の軽商用に電動車リースのラインアップはない
	庁舎のZEB化を推進 →高台出張所がR8より運用開始予定。R6に設計2か所予定	訓練利用のため、屋根への太陽光発電設置はどうしても小さくなる
	自家発電用燃料のCN化検討	ガスはCN化できるが重油等は難しい
	消防ヘリのCN燃料切り替えを検討	CNジェット燃料(SAF)はまだ実験段階
学校	教室への空調導入により使用電力は増加したものの、CN電力化 によりCO <sub>2</sub> は低減	都市ガスなど燃料のCN化は今後要検討
	新たな学校施設整備計画でZEBReady以上を推進	採光・庇・自然換気などは、効果やコストの見合いで実施を検討
上下 水道	中部浄化センター汚泥焼却炉など施設改修による消費電力削減	下水道施設ではメタン等、非エネルギー由来の温室効果ガスの対策も 必要だが、限度がある
	施設への太陽光発電パネル設置	広大な施設もあり太陽光の導入可能性は高いが、企業会計であるため 投資できる金額に限度がある→PPA活用の検討
環境部	プラスチック製容器包装に関するリサイクルの推進	プラスチック製容器包装に関するリサイクル率向上
	家庭ごみ(一般廃棄物)全般の排出量削減	一般廃棄物の製品プラスチック(硬質)の資源物回収は実証段階 本市を含めほとんどの自治体で焼却処分となっている
農林 水産	農：要件を満たす有機農業や化学肥料低減を行う農業者への 交付金の交付	有機栽培での病害虫対策や収穫量減懸念などでの課題
	農業パワーアップ支援事業実施	水田・用水路からのメタンなどの対策は手付かず
	農・林・水：GX支援補助金交付	林業機械等の電化は困難。木材乾燥機は木質燃料化を研究
	林：J-クレジット創出推進	天竜材利用拡大への課題・クレジット販売スキーム確立 水産業へは機械設備以外の取り組みが不明瞭

※岩田がカーボンニュートラル推進事業本部鈴木副本部長と一緒に、聞き取りした内容のまとめ



全体は減少  
廃棄物は  
総量・構成比  
とも増

カーボンニュートラル推進事業本部調べ

廃棄物処理由来の温室効果ガス削減を行う必要がある。  
家庭ごみ削減の他「清掃工場ごみ処理施設の低炭素化」「発生したCO<sub>2</sub>のe-fuel化」など新技術への投資が必要

# 資料④ 入野古墳について



入野古墳からの眺望



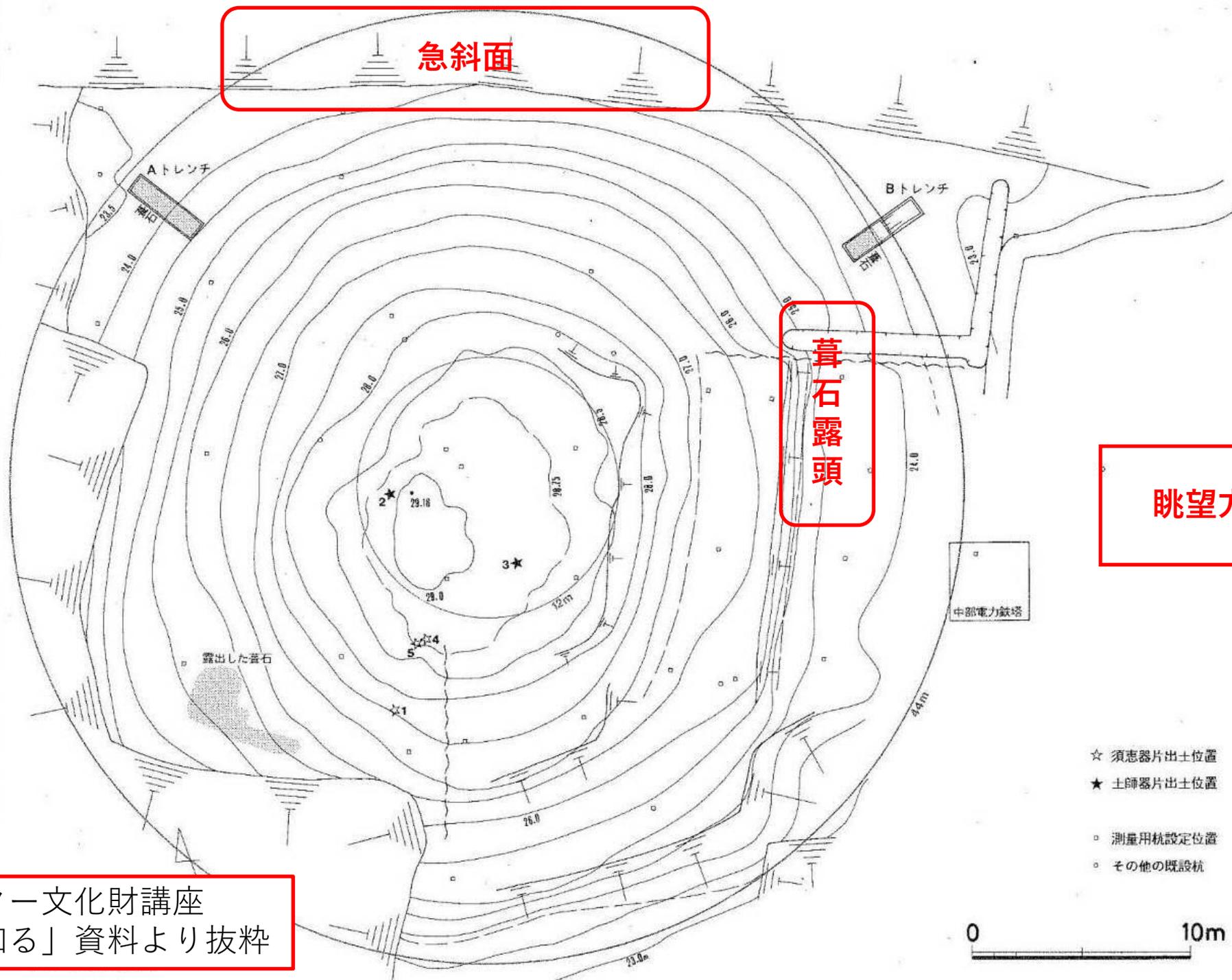
学習会の模様



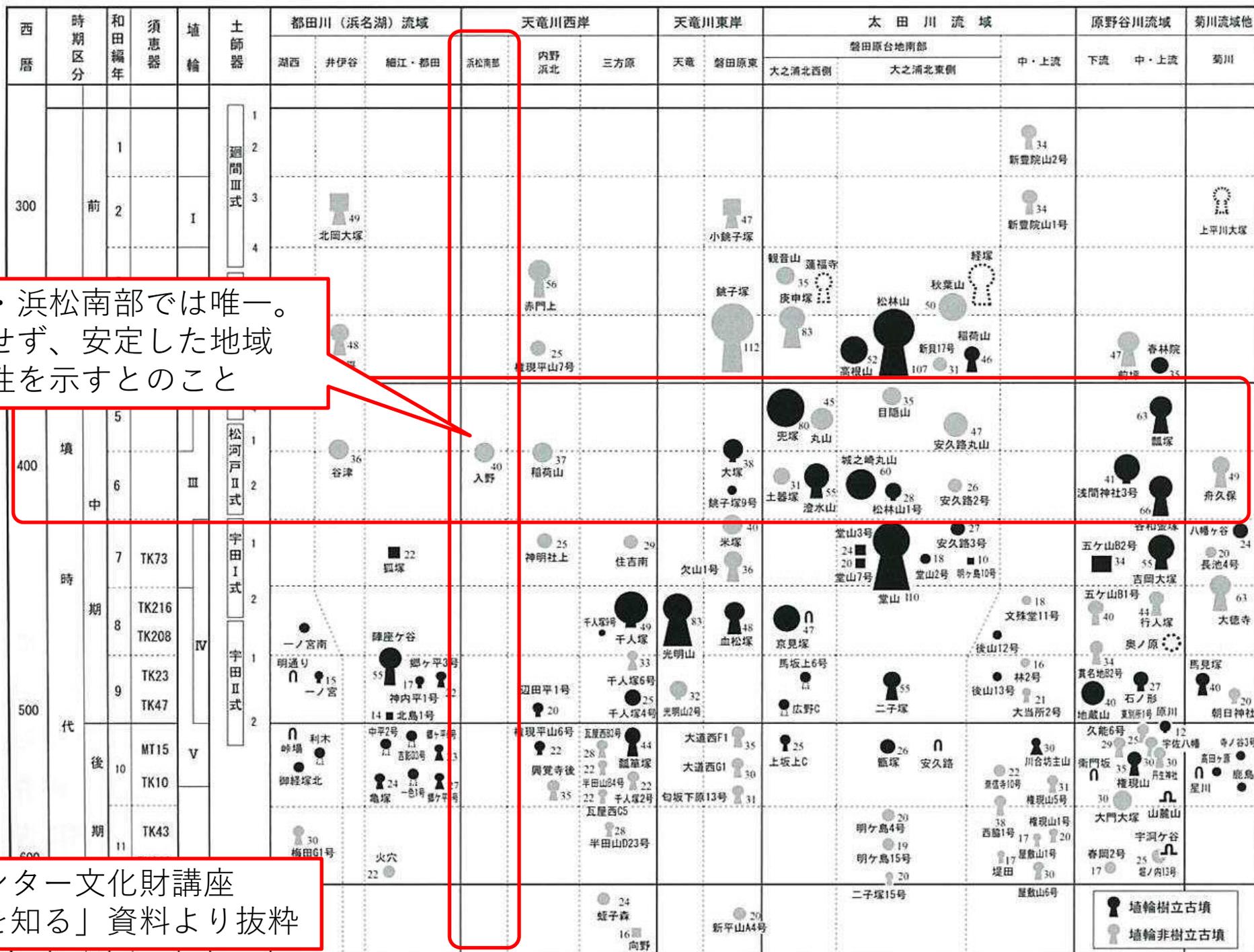
葺石の露頭



周辺の急斜面



入野協働センター文化財講座  
「入野古墳を知る」資料より抜粋



天竜川西岸・浜松南部では唯一。  
豪族が乱立せず、安定した地域  
だった可能性を示すとのこと

入野協働センター文化財講座  
「入野古墳を知る」資料より抜粋

埴輪樹立古墳  
 埴輪非樹立古墳